

～“プラスチックとの賢い付き合い方”を進め、広める～



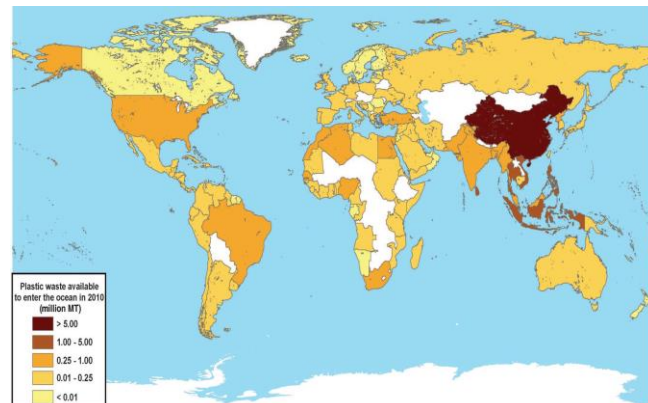
— for Sustainable Ocean —

平成30年10月 環境省

1. 海洋プラスチック対策の背景・趣旨

□ 世界規模での汚染拡大

- ・2050年には魚の量を上回るとの試算も

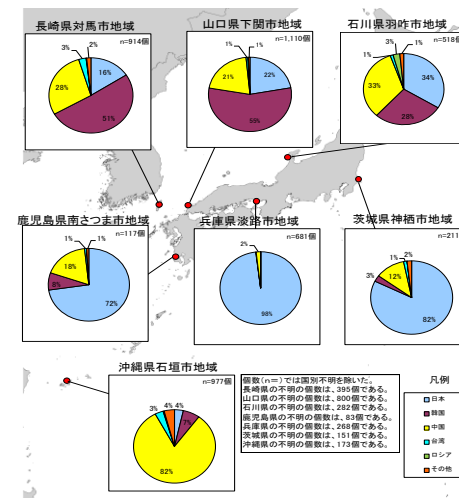


□ 日本の海岸に大量に漂着する海洋ごみ

- ・国内由来のものも多い

□ ワンウェイ容器

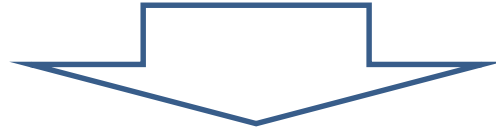
- ・1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量世界2位



⇒ G7、G20、国連などの場で、対策の議論が進んでいる

2. キャンペーンの趣旨

- 一つの旗印の下に幅広い主体の取組を募集・集約



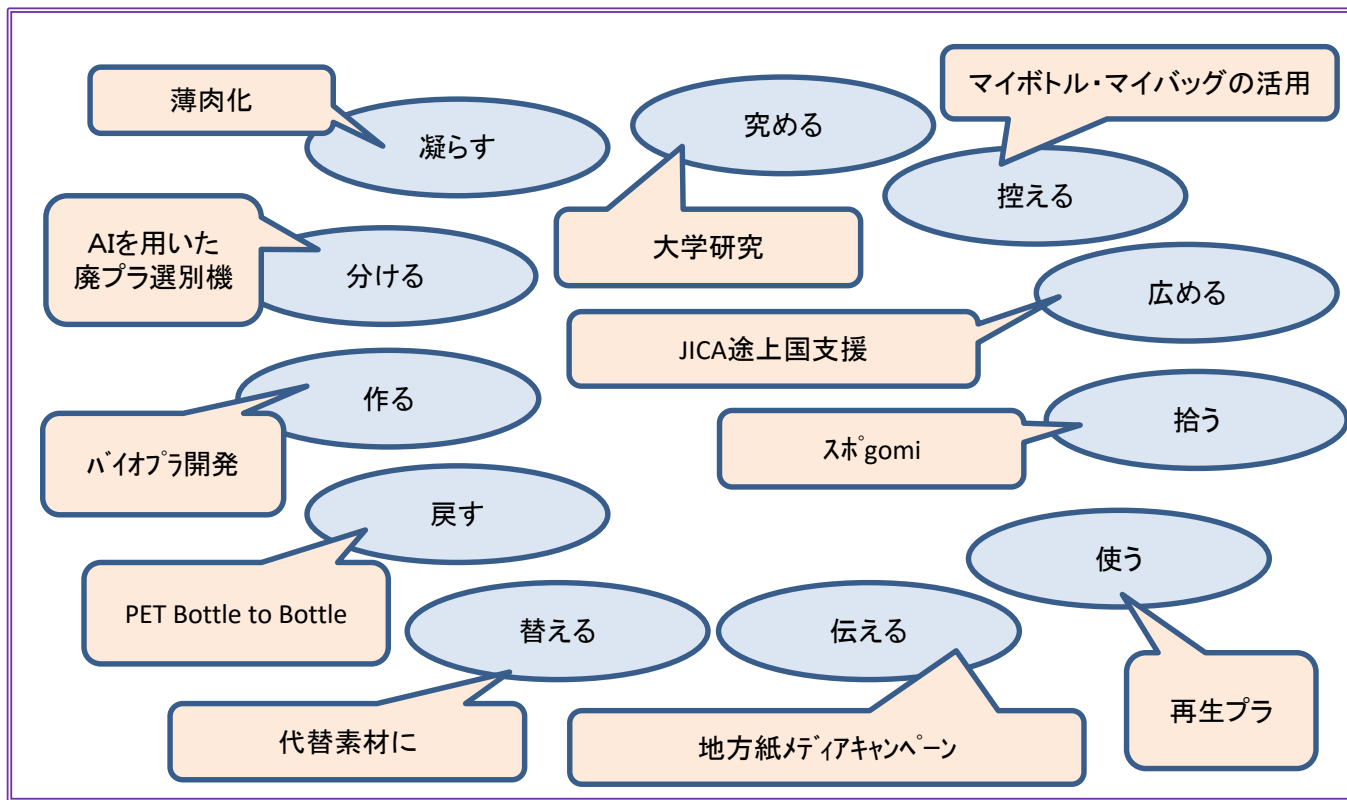
- 「ポイ捨て撲滅」を徹底した上で、「代替素材の開発・活用」、「 unnecessary ワンウェイのプラスチックの排出抑制」や「分別回収の徹底」などの“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進



- 我が国の取組を国内外に発信

3. 参加いただきたい活動、主体

活動



主体

- ・ 個人、消費者
- ・ 町内会
- ・ 市町村、都道府県
- ・ NGO
- ・ 企業

4 - 1. 参加の手順（個人、消費者）

- 下記のような取組をしたり、アイデアを考えついたりした場合に、その写真やコメントをSNS（instagram・Facebook・twitter等）で「#プラスチックスマート」とタグをつけて投稿。

<取組やアイデアの例>

- ・ごみ拾いイベントに参加した
- ・マイバッグやマイボトルを活用し、ワンウェイのプラスチックの使用を控えた
- ・再生プラスチックを使用するなど環境に配慮した商品を買った
- ・ワンウェイのプラスチックの使用削減につながる知恵・アイデア



Instagramで
「#プラスチックスマート」
をみる



Facebookで
「#プラスチックスマート」
をみる



Twitterで
「#プラスチックスマート」
をみる

4 - 2. 参加の手順（自治体、NGO、企業等）

- ① 「プラスチック・スマート」キャンペーンサイト
(<http://plastics-smart.env.go.jp/>)で取組を登録



- ② 共通ロゴマークをダウンロード

- ③ ポスター、カタログ、会社のHP、陳列棚のPOPなどに
ロゴを付けてPR



〇〇は、プラスチックの削減に取り組んでいます。



- ④ 英語でもご登録いただければ、世界経済フォーラムの下の
循環経済の官民連携プラットフォーム「PACE」などと連携し
て、

世界に発信（来年度は事務局にて英訳予定）

5 - 1. 登録いただく情報



分類	〇〇	団体名	〇〇
取組名称	〇〇〇		

団体のロゴ
(任意)

※以下の分類から該当するものを選んで記載。(複数選択可)

「拾う」「使う」「控える」「究める」「分ける」「伝える」
「替える」「戻す」「作る」「減らす」

取組の内容が視覚的に伝わるイラスト・写真
(複数可)

【取組内容】 (100~150字程度)

※以下のSDGs (国連の「持続可能な開発目標」) のアイコンから、
該当するものを選んで記載。(複数選択可)

- 9番: 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11番: 住み続けられるまちづくりを
- 12番: つくる責任 つかう責任
- 14番: 海の豊かさを守ろう
- 17番: パートナーシップで目標を達成しよう



詳しくは・・・ <https://www.〇〇××.co.jp>

5 - 2. 取組の例

「ごみ拾い」「海岸清掃」

〔NGO・町内会など〕

- ごみ拾いにスポーツの要素を加えて、参加者の裾野を広げている取組
- 回収した漂着ごみでアート作品を作ること、海洋ごみ問題に対する理解を深めている取組

など

「普及啓発」

〔市長村・都道府県など〕

- ごみゼロの日（5月30日）を中心とした一斉ごみ回収活動の継続実施で、市民の意識を高めている取組

など

「代替素材の開発・活用」

「再生プラの活用」「薄肉化等のリデュース」

〔企業など〕

- ガスバリア性を向上させ新鮮食品等に用いる紙製容器包装を開発する取組
- 非食料系の植物を原料としたバイオマスプラスチックを開発する取組
- 使用済みPETボトルをリサイクルして新たに食品用PETボトルを作る取組
- 内容量・容器の強度を変えずコンパクト化・薄肉化を行う取組

「影響予測」「技術開発」

〔大学・研究機関など〕

- 海洋プラスチックごみの量・分布や生物への影響の予測及び計測技術の開発等の取組

- 「プラスチック・スマートフォーラム」の立ち上げ
 - ・準備が整い次第、関係者との調整を行い、速やかな立ち上げに向け取り組む。

- 来年6月の「G20持続可能な成長のためのエネルギー転換と地球環境に関する関係閣僚会合」の機会に、フォーラムを開催し、優れた取組について大臣から発表・表彰